

# 世界史 A

## 参考問題例

**問題例 1** 世界史Aを学び終えたあるクラスで、教科書の目次を参照しながら、班ごとに振り返り学習を行った。それぞれの班の活動に関する下の問い(問1～4)に答えよ。

目 次

世界史へのいざない	第4章 変貌するアジアと近代の日本
第I部 世界の一体化と日本	(1) ヨーロッパの東方進出と西アジア … H
第1章 ユーラシアの諸文明	(2) 南アジア・東南アジアの植民地化 … I
(1) 前近代の諸文明とその特質 … A	(3) 東アジアの変容と日本の動向 … J
(2) 陸と海の交流と結びつき … B	第II部 地球社会と日本
第2章 一体化に向かう世界と日本	第5章 世界戦争の時代
(1) 大航海時代と繁栄するアジア … C	(1) 帝国主義諸国と世界分割 … K
(2) ヨーロッパの <b>ア</b> と大西洋 … D	(2) 第一次世界大戦と <b>ウ</b> … L
第3章 欧米の工業化とナショナリズム	(3) 世界恐慌から第二次世界大戦へ … M
(1) 産業革命と資本主義社会の到来 … E	第6章 大戦後の世界と現代社会
(2) ヨーロッパ・アメリカの諸革命 … F	(1) 冷戦と第三世界の登場 … N
(3) 自由主義と <b>イ</b> … G	(2) 多極化の進展と冷戦の終結 … O
	(3) 現代の世界と <u>地域紛争</u> … P
	第7章 持続可能な社会への歩み

問 1 水谷さんの班は、各項目(目次中のA～P)で学習した内容をカードにまとめた。次の3枚のカードは、D、G、Lの項目の学習内容の一部をまとめたものである。このカードを参考にして、目次中の **ア** ～ **ウ** に入れるのに適当な語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **1**

D ローマ教皇や皇帝の権威が衰え、領土内を排他的に統治する国家同士が対等に並び立つ国際関係が形作られた。

G ヨーロッパ各地で、革命や改革を通じて、市民の政治的権利の拡大や、共通する言語や文化のまとまりを単位とした国家の建設を求める動きが進んだ。

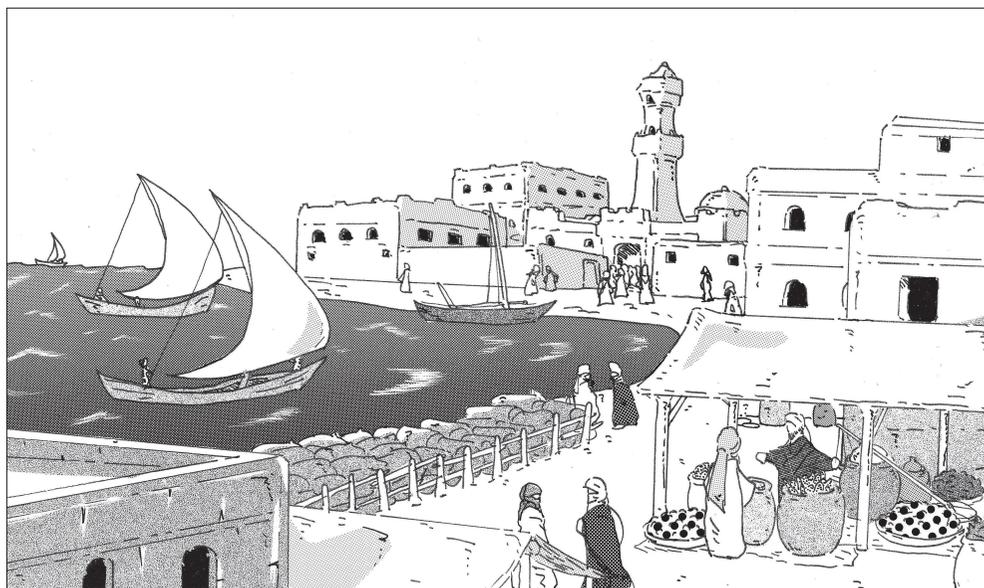
L ヨーロッパでは、いくつかの帝国が解体し、東欧などに新たな国家が成立した。アジアでは、植民地支配からの独立運動が高揚した。

- |   |        |        |        |
|---|--------|--------|--------|
| ① | アー国民国家 | イー主権国家 | ウー民族自決 |
| ② | アー国民国家 | イー民族自決 | ウー主権国家 |
| ③ | アー主権国家 | イー国民国家 | ウー民族自決 |
| ④ | アー主権国家 | イー民族自決 | ウー国民国家 |
| ⑤ | アー民族自決 | イー国民国家 | ウー主権国家 |
| ⑥ | アー民族自決 | イー主権国家 | ウー国民国家 |

問 2 井上さんの班は、教科書中でそれぞれの時代を特徴付けている発明や貿易品についてのコラムを調べ、題目を書き出した。コラムの題目と、その教科書中の項目(目次中のA～P)との組合せとして適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- |   |                               |     |
|---|-------------------------------|-----|
| ① | コラム「ゴム：プランテーションの展開とモノカルチャー経済」 | … I |
| ② | コラム「綿織物：流行の舶来品から機械による国産化へ」    | … E |
| ③ | コラム「戦略物資としての石油と国際政治・国際経済」     | … H |
| ④ | コラム「人工衛星と東西二大国の宇宙開発競争」        | … N |

問 3 速水さんの班は、ある港市の様子を描いた次のイラストを用いて、教科書で学んだ内容の補足説明をすることにした。説明文中の空欄 **工** と **オ** に入れる語句と、**カ** に入れる教科書中の項目(目次中の A~P)との組合せとして正しいものを、下の①~④のうちから一つ選べ。 **3**



### 説明

これは、第1章で学習した **工** の、インド洋海域のある港市の様子です。中央の塔のある建物は、一神教の礼拝所です。信徒には、1日5回の礼拝が義務付けられています。この海域では、港に描かれている **オ** が、海上交通で主に利用されました。市場には香辛料が描かれています。**カ** の時代には、香辛料の原産地を目指すヨーロッパ船が、この海域に来航するようになりました。

- ① エー「ローマの平和(パクス=ロマーナ)」の時代  
オーダウ船                      カー C
- ② エー「ローマの平和(パクス=ロマーナ)」の時代  
オージャンク船                  カー J
- ③ エームスリム商人が活躍した時代  
オーダウ船                      カー C
- ④ エームスリム商人が活躍した時代  
オージャンク船                  カー J

問 4 本多さんの班は、目次中の項目 P の内容について振り返り、項目名に下線部 地域紛争が含まれている理由について意見を出し合った。理由を述べた意見として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 

4
---

- ① 資本主義と社会主義のイデオロギー対立が激化し、独立運動や国家建設に影響を与えているから。
- ② 大戦での敗戦国が、武力を用いて戦後秩序の解体と勢力圏の拡大を推し進めているから。
- ③ グローバル化の進展に反発し、宗教や民族意識をよりどころとして対抗する動きが生じているから。
- ④ 列強と呼ばれる国々が植民地を拡大した結果、各地で利害が衝突し、緊張が高まっているから。

**問題例 2** 次の資料 1・2 は、岩倉使節団(1871～73)の一員であった久米邦武の欧米の国々に関する見聞を記したものである。久米の見聞に関する下の問い(問 1～3)に答えよ。(資料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

### 資料 1

おおやけ 公の権威が軽く、そのため法規制の効果が上がりにくく、それぞれが自分の権利を主張し、…党派を立てて争いがちなところがあるということである。とはいえ、**ア**人はすでにこの風潮にどっぷりと長く浸っていて、民主主義に徹しているのだから、いまさら君主政治によって安定を求めるようなまねはできない。しかし、この風潮が他国に及ぶと君民の間に摩擦が生じ、これまでの基本的法制度が否定されるようになって、その国の基本構造が揺り動かされつづけることになる。フランスが最初にこの悪影響を受け、スペインもその後、その害を被<sup>こうむ</sup>るようになった。

### 資料 2

**イ**は貿易が盛大で世界の大市場と言われる。…四方が海に囲まれているので、貿易にとっての天然の障害はなく、良い港がたいへん多い。…この国の貿易品の主な物は鉄や石炭であって、…その鉄や石炭を機械や蒸気エネルギーに換え、さらに風力や水力も使って工業生産を行い、**ア**の綿花、インドの麻、西インドの粗糖がこの国に入って来て、さまざまな織物や精糖に変化して世界中に広がっていくのである。

問 1 資料 1・2 中の空欄 **ア** と **イ** に当てはまる国名と，岩倉使節団を派遣する前の日本が **ア** や **イ** と結んだ条約について述べた文 a・b との組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **1**

日本が **ア** や **イ** と結んだ条約

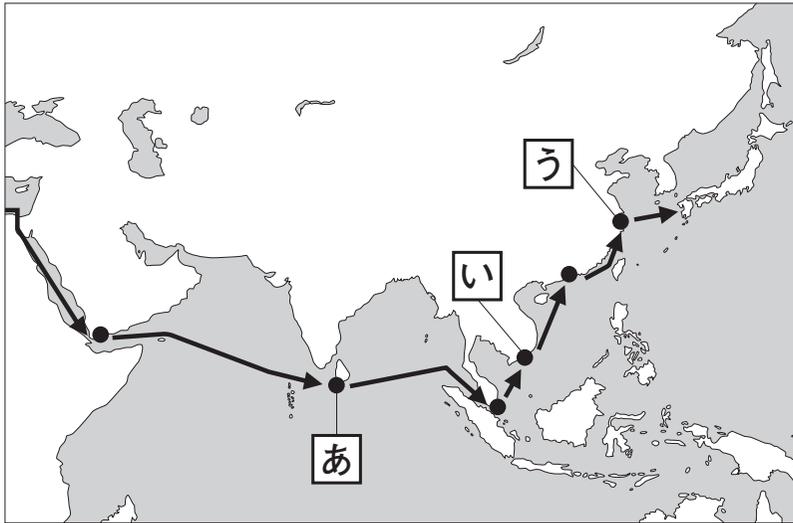
- a フランスを加えて，太平洋地域の現状維持などを取り決めた。
- b 領事裁判権や関税自主権に関して，日本に不利な不平等条約であった。

- ① **ア**—アメリカ      **イ**—イギリス      条約— a
- ② **ア**—アメリカ      **イ**—イギリス      条約— b
- ③ **ア**—イギリス      **イ**—アメリカ      条約— a
- ④ **ア**—イギリス      **イ**—アメリカ      条約— b

問 2 資料 1 中に「フランスが最初にこの悪影響を受け」とあるが，久米はどのような状況を指してこのように述べたと考えられるか。考えられる事柄について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

- ① 政体が，王政・共和政・帝政の間で次々と変化したこと。
- ② 革命によって一党独裁が敷かれ，農業の集団化が強行されたこと。
- ③ 信仰に対する寛容政策を廃止したため，多くの商工業者が国外に亡命したこと。
- ④ 統一国家の建設が求められながら，統一の方式をめぐる対立が続いていたこと。

問 3 岩倉使節団は、欧米諸国を視察した後、次の地図に示したような航路で日本に帰国した。地図中の●は使節団の寄港地であり、資料3・4はそのうちの2か所の港に関する見聞として久米が記したものである。資料3・4と寄港地あ〜うの組合せとして正しいものを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。 3



資料3

外国貿易のために開港した港の中で最も繁盛しているところである。輸出の主なものは茶と生糸で、それに次いで砂糖、綿花が多い。輸入はアヘン、塩漬けの魚、海草、石炭、それに綿織物等。

資料4

いまはフランスの植民地となったので、定期航路の港ではないのであるがフランス政府が船会社に年800万フランの金を渡してここに寄港させ、この地域の輸送の便を図るとともに、植民の便を図っている。

- |           |         |           |         |
|-----------|---------|-----------|---------|
| ① 資料3 — あ | 資料4 — い | ② 資料3 — あ | 資料4 — う |
| ③ 資料3 — い | 資料4 — あ | ④ 資料3 — い | 資料4 — う |
| ⑤ 資料3 — う | 資料4 — あ | ⑥ 資料3 — う | 資料4 — い |